【自己点検・自己評価】

20〇〇年〇月～20〇〇年〇月

A:「達成されている」または「適合している」
B:「一部未達成」ではあるが、１年を目途に達成または適合が確実な項目
C:「未達成」または「適合していない」項目

評価項目１：教育の理念・目標と、その具体化のための方策			
教育理念	「教育で世界をつなぐ」という企業理念に基づき、グローバル人材を育成する		
教育目的	本邦の大学等への進学を希望する外国人留学生に対する日本語教育を通じて、総合的コミュニケーション能力の向上と学習を自ら管理する能力を身に付けさせ、もって多様な価値観や文化に対する理解力を有するグローバル人材を育成・輩出し、国際的文化交流の発展に寄与すること		
教育目標	①日本語運用能力を向上させること、②進路目標を達成するために、自ら計画しそれを実行する力を向上させること、③多様な価値観や文化に対する理解力を向上させること、④自己管理能力を向上させること		
1-1 教育理念と教育目的が明確に定められている。		評価	
1-2 教育理念と教育目的が教職員及び生徒に周知されている。		評価	
1-3 教育理念と教育目的に基づく教育が行われている。		評価	
現状			
取り組み			
課題			

評価項目２：日本語教育機関の運営			
2-1 認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準に適合していることを年１回以上確認している。		評価	
2-2 運営の透明性が確保されている		評価	
振り返りのための着眼点	・校長、主任教員、本務等教員教員、非常勤教員、事務統括職員、事務職員の職務内容及び責任と権限を明確に定め、かつ、教員間で周知されている。 ・管理、運営のための諸規程を整備し、規定に基づいた運営が効果を上げている。 ・管理、運営のための諸規程を整備し、規定に基づいた運営が効果を上げている。 ・予算編成が適切になされ、明確なルールにより執行している。		
2-3 運営に必要な情報が機関内の関係者間で共有されている。		評価	
振り返りのための着眼点	・機関の短期及び中長期目標が教職員間で周知されている。 ・運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有する仕組みがあり、機能している。		
2-4 運営にあたり法令を遵守している。		評価	

振り返りのための着眼点	・コンプライアンス意識向上のため担当者を定めて取組を行い、効果が出ている。 ・関係官庁への届出、報告を遅滞なく行っている。		
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られている。		評価	
状況			
取り込み			
課題			

評価項目３：情報公開		
3-1 機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している。	評価	
3-2 募集及び納付金に関する情報を公開している。	評価	
3-3 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている。	評価	
3-4 情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている。	評価	
3-5 公開されている情報は常に最新のものに更新されている。	評価	
状況		
取り込み		
課題		

評価項目４：入学者の募集と選考		
4-1 適切な方法で入学者の募集を行っている。	評価	
振り返りのための着眼点	・教育目標に合致した募集計画を立案し、募集地域や対象者を定めて募集活動を行っている。 ・機関所属の職員が入学希望者に対して情報提供や入学相談を行っている。 ・海外の募集代理人に最新かつ正確な情報提供を行っている。 ・海外の募集代理人の適切性を確認し、募集活動を具体的な情報により把握している。	
4-2 適切な方法で入学者の選考が行われている。	評価	
振り返りのための着眼点	・受け入れるコースの教育内容が入学志願者のニーズと合致することを確認している。 ・入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考を行っている。 ・入学志願者の学習能力、学習意欲、日本語能力等を確認している。 ・入学志願者の情報を正確に把握し、提出された根拠資料で確認している。 ・不法残留者を多く発生させている国からの志願者には機関所属職員が面接等の調査を行っている。	
状況		

取り込み	
課題	

評価項目５：教育活動			
5-1 教育目標に合致した教育活動の計画を作成している。		評価	
振り返りのための着眼点	・理念と教育目標達成のためのカリキュラムを編成している。 ・学生の熟達度を、特定の試験の成績だけで判定するのではなく、「日本語教育の参照枠」の枠組みの中に位置づけて理解する試みを行っている。 ・　理念及び教育目標に適合した教材が選択、又は制作されている。		
5-2 教育活動を適切に実施するための手立てを講じている。		評価	
振り返りのための着眼点	・教育活動の計画が教員全体に周知されている。 ・学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。 ・当該学期の学習内容及び学習予定等を学生に開示している。 ・出席簿を備え、正確に記録している。教育活動の振り返りと改善に活かせるような形で授業記録簿を残し、記録内容を関係教員間で共有している。 ・学習成績の判定基準及び方法が定められ開示されている。また判定結果を的確に学生に伝えている。		
5-3 授業を含む教育活動全体の検証を定期的かつ適切に行っている。		評価	
振り返りのための着眼点	・検証のための体制、方法及び評価の基準を定めている。 ・学生からの評価も含む、多方面的な評価システムが導入されている。 ・「～を実施している」ことの確認だけでなく、「それが実際に効果を上げているか」を、根拠に基づき確認できるような評価システムとなっている。 ・評価結果が教育内容や方法等のプログラム改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。 ・評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。		
5-4 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制が整っている。		評価	
現状			
取り組み			
課題			

評価項目６：教職員育成			
6-1 教育力及び支援力強化のための取組を適切に行っている。		評価	
振り返りのための着眼点	・教育目標達成に必要な教職員の能力及び資質を明示している。 ・新任教員、初任教員を対象とし、明示された「必要な能力・資質」を向上させることを目的とした研修を実施している。 ・経験を問わず、所属する教職員を対象に、振り返りの機会を設け、情報の共有や		

	成果の確認を行っている。 ・他機関の実施する研修会等への参加を促している。
6-2 教職員の自己評価等を含む多方向的な教職員評価を行っている。	評価
振り返りのための着眼点	・教職員評価のための体制、方法及び評価の基準を定めて、開示している。 ・上位者からの評価だけでなく、自己評価、相互評価、学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。 ・評価結果を的確に教員に伝え、それが教員の能力・資質の向上に結び付いている。 ・評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。
現状	
取り組み	
課題	

評価項目７：学生支援		
7-1 日本社会を理解し、一構成員として活動するための取組を適切に行っている。	評価	
振り返りのための着眼点	・留学生活に関するガイダンスを定期的に実施し、その効果を確認している。 ・留学生活に関する生活指導担当者が特定され、周知されている。 ・日本社会、日本文化を理解するための活動を行っている。	
7-2 進路指導を適切に行っている。	評価	
振り返りのための着眼点	・進路指導担当者が特定されている。 ・学生の希望する進路を随時把握し、入学時から一貫した指導をしている。 ・進学及び就職に関する資料や情報を収集し、学生に提供している。 ・卒業後の進路を把握している。	
7-3 安全な留学生活を送るための適切な取組をしている。	評価	
振り返りのための着眼点	・健康、衛生面について指導する体制を整えている。 ・重篤な疾病や障害、交通事故に遭った場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。 ・火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法等を定め、避難訓練を定期的に実施している。 ・必要な場合は母国語等による支援体制を整えることができている。	
7-4 入国・在留に関する指導及び支援を適切に行っている。	評価	
振り返りのための着眼点	・入管法上の留意点について学生への伝達、指導を定期的に行っている。 ・不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者を発生させないための取組を継続的に行い、発生を防いでいる。	
7-5 住まいの紹介等の生活環境への支援が行われている。	評価	

7-6 保護者及び生徒紹介機関との連携が適切になされているる。	評価	
現状		
取り組み		
課題		

評価項目８：施設・設備		
8-1 語学学習に適した施設・設備である。	評価	
振り返りのための着眼点	・教室内は十分な照度があり換気がなされているとともに、必要な遮音性が保たれている。 ・視聴覚教材や ICT を活用した授業が可能な教育用機器及び設備が備わっている。 ・授業時間外に自習できるスペースおよびリソースを提供している。	
8-2 学生及び教職員の安全を考慮し、適切な対処を行っている。	評価	
振り返りのための着眼点	・法令上必要な設備等を備えている。 ・廊下、階段等は緊急時に危険のない形状である。 ・バリアフリー対策を施している。	
現状		
取り組み		
課題		

評価項目９：地域貢献・社会貢献		
9-1 地域貢献、社会貢献となる活動を行っている。	評価	
振り返りのための着眼点	・小中学校の国際理解教育、ボランティア通訳等の地域活動への参加、地域の人々との交流活動を行っている。 ・地域における日本語教育等を積極的に行っている。	
9-2 地域及び社会の状況や特性を理解できるよう、生徒に周知が行われている	評価	
現状		
取り組み		
課題		

評価項目１０：財務		
10-1 日本語教育を中長期的継続的に行うために適切な財務状況である。	評価	
10-2 予算・収支計画は有効且つ妥当なものとなっている。	評価	
10-3 財務について会計監査が適正に行われている。	評価	
10-4 生徒紹介機関に支払う手数料は相場を鑑みた適正なものとなっている。	評価	
現状		
取り組み		
課題		